

## 第6回総合球技場基本計画検討委員会

# 小瀬スポーツ公園全体の有効活用方策について

平成30年12月25日

## 1. 前回検討委員会での主な意見(1 / 2)

---

### 【合宿誘致について】

- ・ここにもし合宿地として呼び込んでいくとなると対応可能なかどうか、小瀬スポーツ公園だけでなく、周辺エリアでもどれくらいのスポーツ施設や宿泊施設があるのかを含め検討しなくてはならない。
- ・施設データの一元管理という話があったが、その他の施設も含めた空き状況がどのような状況なのか利用者に見せ利便性をあげていくという活動も必要になる。
- ・この周りに宿泊施設をつくるのは山梨県の場合現実的ではない。車で15分程行ったところに石和温泉がある。また車で20～30分走ると甲府の湯村温泉もある。かつての勢いがないところで、積極的にそういう観光部門や宿泊施設との良い連携ができるような体制づくりを、県主導でやるべき。

### 【ピッチを活用したイベント】

- ・今夏にカシマスタジアムでピッチの芝生の中にテントを60張り入れて親子がそのテントで寝泊まりをして星空を楽しむ企画があった。また映画を夜に上映することなども可能。
- ・ピッチ内での飲食の制限等はでてくるが、芝生の管理スケジュール次第で様々な活用が可能。

### 【公園全体でのイベント実施】

- ・スタジアムの中だけでなく、様々な広場が公園施設の中にあるので、健康をキーワードに地域のオーガニックの果物や野菜といった山梨県としてアピールできるものをマルシェで売ることによって観光客を呼ぶことも期待でき、これが山梨の象徴になっていくことも考えられる。
- ・オリンピックは芸術と結びついて開かれていた歴史を持っているが、ここにも山梨県が誇る彫刻や美術品等をおくと芸術公園にもなる。スポーツと芸術文化は非常に重要な組み合わせになると考える。
- ・将来的には例えばアスリートの学生が、小瀬スポーツ公園で様々な種目のスポーツフェスティバルを開催したり、トップジュニアアスリートに対してのクリニックを大学の指導者やトップアスリートがしたり、連携するような可能性も多岐にわたる。
- ・スポーツに興味のない方も大勢いる。そのような方も小瀬のパークに行けば豊かになれるようにすべき。

## 1. 前回検討委員会での主な意見(2 / 2)

---

### 【県民参加型での公園全体の賑わいづくり】

- ・FC 今治の事例では、新しいスタジアムについてどうエリアを活用していくかを市民、有識者、自治体でグループワークをした。新しいスタジアムの活用策は、これまでとは別の形で、そのような場をつくって学生や中銀スタジアムのボランティアからアイデアを聞く機会を設けたら良い。
- ・都市公園法が改正されてから、公園施設全体を民間の事業者が活用したり、収益施設をつくったり、「パークマネジメント」という言葉もよく聞かれ出しており、公園をうまく地域のために活用している事例が増えてきている。

### 【ブランディング、海外都市との連携】

- ・ヨーロッパの都市と友好都市の提携をしていれば、その都市のイメージを小瀬全体のデザインと合わせたら良い。例えばフランスのボルドーやドイツのワインの名産地と連携して全体をデザインされるのも一案。
- ・山梨県として唯一無二のものをここにつくるためにどのようにブランディングするかが大事。

### 【防災機能】

- ・従来の施設とどのように役割分担するのか、また防災といってもどこまで必要なのかというレベルもあるので、何でもやるのではなく広域的な視点から見直してきちんと整理すべき。

### 【その他】

- ・無料の送迎バスやここに来やすい交通環境が重要。また、各スポーツのトップリーグがある時にしか人が来ないことが多いので、球技場の中に商業施設をもっと充実させて、ショッピングも兼ねてここに来たり、広場で遊んだりというのが望ましい。

## 2. 意見を踏まえた方向性(1)

### 【合宿・大会誘致について】

利用調整を行いつつ、新たに球技場が一つ増えることを強みとして、県内宿泊施設等と連携を図りながら、大規模な大会や合宿利用誘致を図る。

県全体でのスポーツコミッションによるスポーツ合宿やイベント誘致の推進。

宿泊施設と練習会場が離れているが、送迎のサービス等を行うことで、利便性を高めるなどの工夫が必要。

合宿利用については、近年は社会人チームやサークルなどの利用も活発化しており、宿泊施設の質の向上が求められている。

### 【佐賀県スポーツコミッションの取組み】

・佐賀県では、スポーツ合宿やイベントの開催を支援する各種事業を「佐賀県スポーツコミッション」の担当部署を設置して推進。

・一元窓口として施設の手配・紹介などのコーディネートを行うとともに、「スポーツ合宿支援補助金」を設立し、実施団体に対する支援も行っている。

・また、送客を行う旅行代理店等への奨励金制度も設置。大学生などが行うスポーツキャンプ・合宿の受入れを促進させるため、これらの送客に取り組む事業者に奨励金を支給。

佐賀県でのスポーツイベント・合宿が、ご希望条件ぴったりの合宿になるよう支援！

快適な合宿になるよう、  
佐賀県スポーツコミッションが丸ごとコーディネート！



スポーツ施設・練習場の予約確認・使用手続きのお手伝い	¥0
合宿地周辺の宿泊施設のご紹介	¥0
お住まいの住所から佐賀県までの移動、佐賀県内の移動のご案内	¥0
地元の人しか知らない、佐賀県内のおススメスポットご紹介	¥0
ややこしい補助金申請や割引情報提供などコストカット支援	¥0
etc...	

オーダーはこちらまで

☎0952-25-7359 ✉[ssc@pref.saga.lg.jp](mailto:ssc@pref.saga.lg.jp)

<http://www.saga-sc.jp/about>

## 2. 意見を踏まえた方向性(2)

### 【ピッチを活用したイベント】

芝生の管理スケジュールを踏まえながら、普段は立ち入れないピッチを開放した体験イベント等の実施をすることで、県民が「身近に」感じられるスタジアム及び公園全体のPRを行う。

大規模な液晶ビジョンや音響設備があることを踏まえ、映画、ライブビューイングなどの映像コンテンツ等を野外で楽しめる場としての利活用を図る。

#### <カシマスタジアム スタジアムキャンプ>

- ・2018年の夏、ピッチ上でテントを張って宿泊を行う「スタジアムキャンプ」を実施。
- ・シャワーなどはスタジアム施設を利用可能。
- ・周辺敷地を含めたウォーキング、スタジアムツアー、健康教室、ライブビューイングなど、滞在時間を楽しませる各種イベントを実施。



<https://number.bunshun.jp/articles/-/832349>

## 2. 意見を踏まえた方向性(3)

---

### 【公園全体でのイベント実施】

山梨県らしい、農作物と健康をテーマとしたイベントの開催、大学との連携などを行い、誰もが気軽に楽しみ、「豊かさ」を感じることができるイベントを公園全体の施設、資源を活用して実施する。

スポーツ×アート、スポーツ×健康、食など、豊かさを感じることができるテーマを設定した取り組みを実施する。

小瀬スポーツ公園は桜の名所でもあるため、桜などをテーマとしたイベントの開催も可能。

### 【県民参加型での公園全体の賑わいづくり】

小瀬スポーツ公園全体での賑わいづくりにおいては、管理者だけではなく、利用者となる県民自身が企画・実行に参加する仕組み作りを行う。

学生やボランティア、NPO団体、地域組織、地元事業者などが集まり、主体的に関与することで、地域・公園・スタジアムへの愛着を醸成する。

日産スタジアム、神戸ウイングスタジアム、味の素スタジアムなどでは、市民ボランティア等を公募。

### 【ブランディング、海外都市との連携】

山梨らしさと海外姉妹都市などとの連携による洗練されたデザイン、イベントの実施等を行う。

県内市町村の姉妹友好提携都市は、仏ニューイ・サン・ジョルジュ市（笛吹市）、仏ポーヌ市（甲州市）など

### 【防災機能】

従来施設、周辺施設との役割分担及び既往の防災計画の中での位置づけを踏まえて、災害時の県民の安全・安心を担うスタジアム及び公園全体の運用を図る。（スタジアムの防災機能の考え方については資料2）

### 【その他】

気軽に立ち寄りやすい交通手段の拡充、日常的に利用できる商業機能等の導入などの検討を進める。